記者発表資料

流域治水

地域を“みず”から守る
～みんなではじめる「流域治水」～

令和７年９月９日
山形河川国道事務所
山形地方気象台
山形県
美しい山形・最上川フォーラム

日本一の芋煮会フェスティバル会場にて「かわとぴあ 2025in 山形」を開催

最上川で流域治水、水防災について”学ぶ”、”体験する”！

○ 「かわとぴあ」は、地域の皆さまに河川事業、ダム事業の役割や災害防止・河川愛護の重要性への御理解を深めていただくため、「日本一の芋煮会フェスティバル」に合わせて同時開催します。

○ 会場には羽越豪雨や令和６年７月洪水などにおける氾濫状況・災害復旧状況や流域治水の取組等についてお知らせするとともに、この歴史的な大災害を忘れることなく、近年激甚化や頻発する水害への備えを改めて考えるきっかけとなるよう「流域治水」や「水防災」などのパネル展を実施します。

○ また、大雨体験(令和６年７月洪水などと同規模の大雨を体験)、浸水体験長靴を用いた浸水下における歩行の疑似体験、竜巻実験の他、写真コンテスト入賞作品や排水ポンプ車等を展示します。

１．開催日時　令和７年９月１４日（日）９：００～１６：００

２．開催場所　馬見ヶ崎川（双月橋上流 右岸）
※日本一の芋煮会フェスティバル会場内（大鍋ブース対岸）（別添）

３．実施内容
（１）パネル展　：令和６年７月洪水、昭和４２年羽越水害、流域治水などに関するパネル
（２）体験　：大雨体験（令和６年７月洪水等と同規模の大雨を体験)、浸水体験長靴を用いた浸水下における歩行の疑似体験、他
（３）実験　：土石流模型実験、竜巻実験
（４）展示　：排水ポンプ車、河川パトロールカー、遠隔式除草機械、写真コンテスト入賞作品、他

４．参加機関　山形河川国道事務所、山形地方気象台、山形県、美しい山形・最上川フォーラム

＜発表記者会：山形県政記者クラブ、米沢記者クラブ＞

＜問合せ先＞

(かわとぴあ全体について)
国土交通省　東北地方整備局　山形河川国道事務所
山形市成沢西四丁目３－５５（℡　023-688-8933）
流域治水課長　鈴木（すずき）　駿生（しゅんせい）（内線 351）

(以下、各関係機関ブースについて)
国土交通省　気象庁　山形地方気象台
水害対策気象官　會田（あいた）　真司（しんじ）（℡　023-622-0632）

山形県　県土整備部　河川課　流域治水推進室
室長補佐　清野（せいの）　典明（のりあき）（℡　023-630-2686）

美しい山形・最上川フォーラム
事務局　佐藤（さとう）　浩美（ひろみ）（℡　023-666-3737）

※国土交通省東北地方整備局山形河川国道事務所は、「日本一の芋煮会フェスティバル」を共催しています。

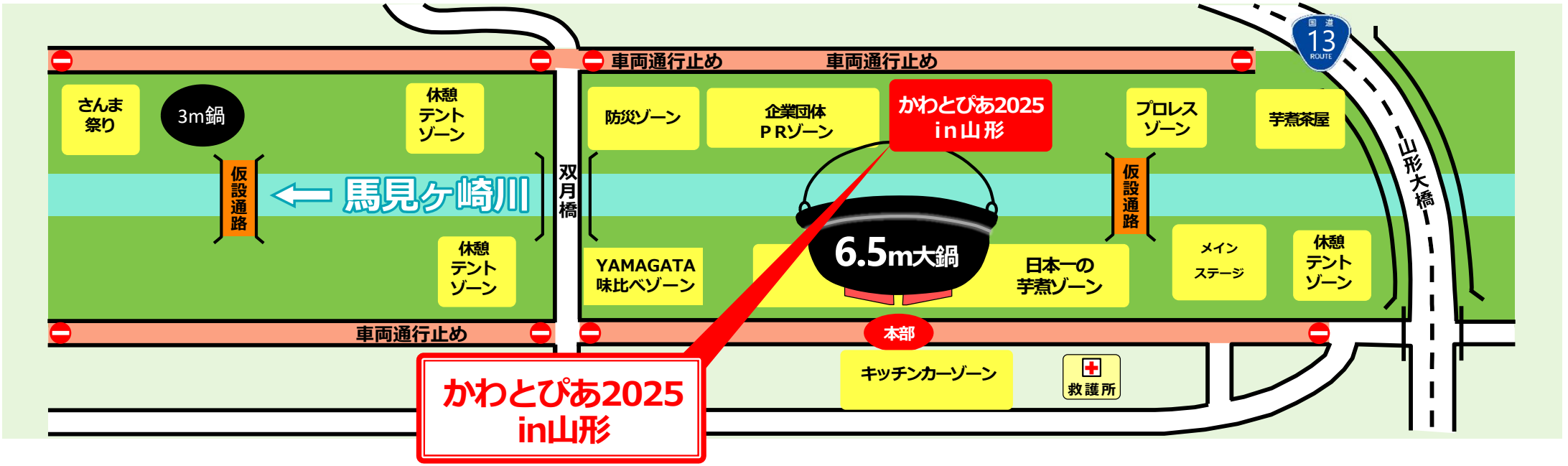
かわとぴあ2025in山形　会場までの案内図

『かわとぴあ2025in山形』は
『日本一の芋煮会フェスティバル』
の6.5m大鍋の対岸で開催します。
大鍋側からかわとぴあ会場側へは
仮設通路を渡ってお越し下さい。

会場近くには駐車場がございません。
お車でお越しの場合は、日本一芋煮会フェスティバル特設駐車場をご利用下さい。
詳しくは、「日本一の芋煮会フェスティバル」のサイトでご確認下さい。
(https://imoni-fes.jp/)



出典：地理院地図に会場位置等を追記して掲載



かわとぴあ2025in山形　会場案内図

美しい山形・最上川フォーラム



写真コンテスト入賞作品、
川や海のゴミの見本等を展示

土石流模型実演

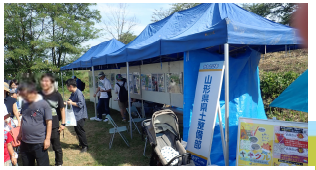


土石流の仕組みが分かる模型の実演

河川パトロールカー
展示・体験搭乗



山形県



河川や砂防等に関するパネル等を展示

山形地方気象台

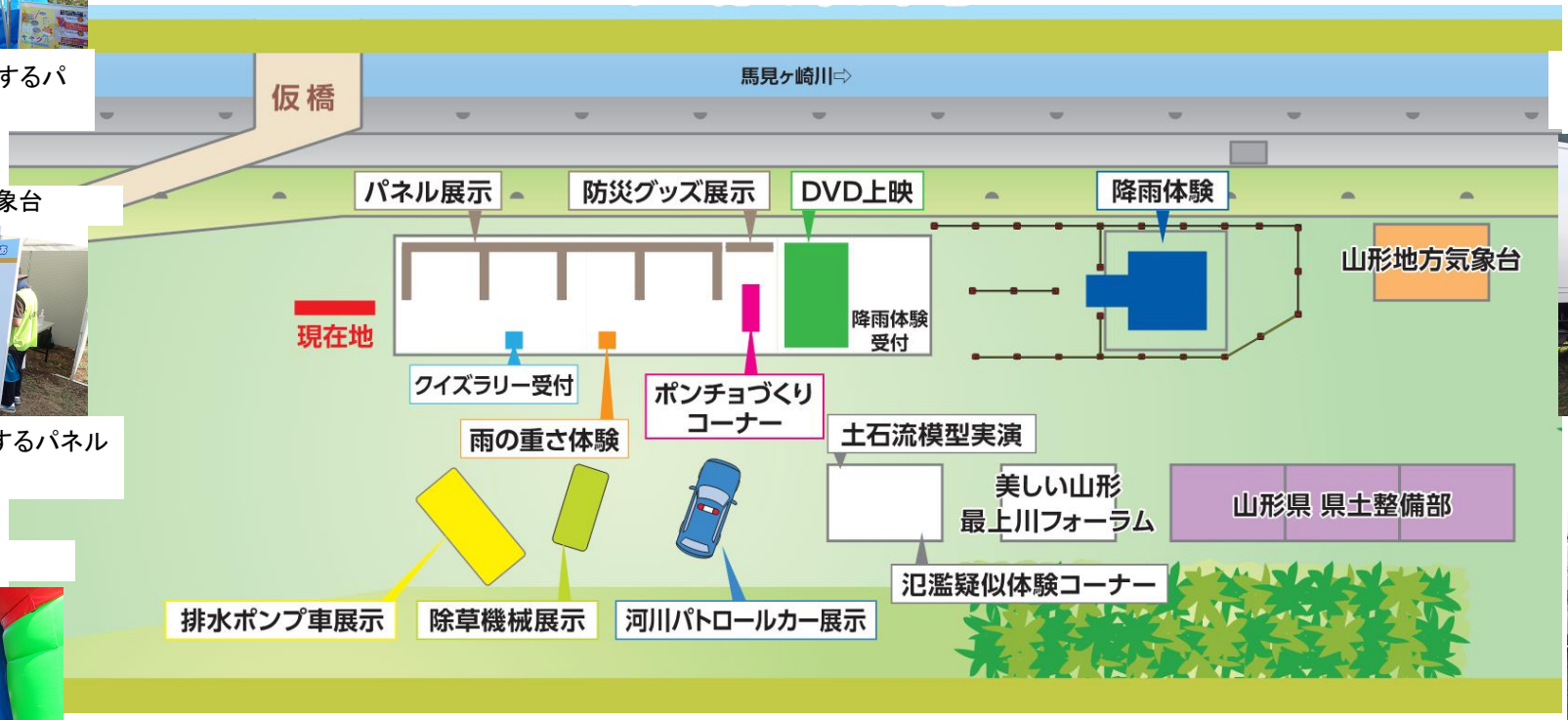


雨量計や気象に関するパネルを展示

降雨体験



令和6年7月洪水が体験できる降雨体験装置



30m3/s排水ポンプ車
展示・体験搭乗



パネル展



水害や防災に関するパネル展